

平成24年度独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査会（第3回）議事要旨

- 1 日 時 平成24年11月7日（水）15時00分～17時00分
- 2 場 所 学術総合センター 11階1112会議室
- 3 出席者 岩村委員長，角田副委員長  
板倉，川島，工藤，酒井，瀧田，田中，中原，西出，野中，松尾，六車，  
毛利，吉川の各委員  
（機構側出席者）  
野上機構長，岡本理事，福島理事，武市研究開発部長  
森准教授  
福治管理部長，根岸学位審査課長
- 4 平成24年度学位審査会（第2回）議事要旨について  
確定版として配付された。
- 5 議 事
  - (1) 短期大学及び高等専門学校卒業生等に係る学位取得者数について  
学位審査課長から，資料2に基づき，平成24年度4月期の短期大学及び高等専門学校卒業生等に係る学士の学位取得者数等について報告があった。
  - (2) 短期大学及び高等専門学校卒業生等に係る学士の学位授与の審査について  
学位審査課長から，資料3-1及び3-2に基づき，平成24年度10月期の短期大学及び高等専門学校卒業生等に係る学士の学位授与の申請状況について説明の後，機構長から学位審査会に，学士の学位授与の可否について審査が付託された。  
この審査の付託を受け，平成24年度10月期の学士の学位授与の申請について，修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会・部会の指定が行われ，当該専門委員会・部会に審査及び試験が付託された。
  - (3) 認定課程修了者に係る学士の学位授与の審査について  
学位審査課長から，資料4に基づき，平成24年9月に独立行政法人水産大学校本科を修了した4人に係る学士の学位授与の申請状況について説明の後，機構長から学位審査会に，学士の学位授与の可否について審査が付託された。  
この審査の付託を受け，学士の学位授与の可否について審査が行われ，「合格」と判定された。
  - (4) 認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査について  
学位審査課長から，資料5-1及び5-2に基づき，平成24年9月に防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した17人に係る博士の学位授与の申請状況について説明の後，機構長から学位審査会に，博士の学位授与の可否について審査が付託された。  
この審査の付託を受け，平成24年9月の認定課程修了者に係る博士の学位授与の申

請について、論文の審査及び試験を担当する専門委員会・部会として医学・薬学専門委員会医学部会が指定され、同部会に論文の審査及び試験（口頭試問）が付託された。

(5) 認定課程修了者及び修了見込者に係る修士の学位授与の審査について

学位審査課長から、資料6-1及び6-3に基づき、平成24年10月に防衛大学校総合安全保障研究科前期課程を修了した1人に係る修士の学位授与の申請状況について説明の後、機構長から学位審査会に、修士の学位授与の可否について審査が付託された。この審査の付託を受け、平成24年10月の認定課程修了者に係る修士の学位授与の申請について、論文の審査及び試験を担当する専門委員会・部会として社会科学専門委員会が指定され、同委員会に論文の審査及び試験（口頭試問）が付託された。

併せて、資料6-2及び6-4に基づき、平成25年3月の認定課程修了見込者のうち、防衛大学校理工学研究科前期課程から1人、防衛大学校総合安全保障研究科前期課程から18人、独立行政法人水産大学校水産学研究科から1人、国立看護大学校研究課程部看護学研究科から4人及び職業能力開発総合大学校研究課程から13人の合計37人から、課程修了年度における修士の学位授与申請予定の申出があった旨の説明があり、審議の結果、12月20日までに申請があった場合には、1月から論文の審査及び試験（口頭試問）を実施することが了承された。

(6) 短期大学及び高等専門学校の特攻科に係る認定の審査について

学位審査課長から、資料7に基づき、平成24年9月に受け付けた短期大学の専攻科3校4専攻からの認定申出について説明の後、機構長から学位審査会に、認定の可否について審査が付託された。

この審査の付託を受け、審査を担当する専門委員会・部会の指定が行われ、当該専門委員会・部会に教育課程及び教員組織等の審査が付託された。

(7) その他

① 学位審査研究主幹から、資料8に基づき、今期から実施することとなった学修成果・試験の審査で不可と判定された申請者へ送付する不合格理由通知文作成のガイドラインについて説明があった。

② 学位審査課長から、平成24年3月の認定課程修了者に係る博士の学位授与申請に関して、申請者1名から学位授与申請の取下げの申し出があった旨の報告があった。

③ 中原委員から、柔道整復学の分野に対応する専攻の区分の設定に向けて調査研究協力者会議で検討を開始している旨の説明があり、その方向で取り進めることが了承された。

以上